

授業概要

子どもの育ちを支える保育者として求められる知識と保育技術に視点を置き、子どもと人間関係にかかわることを学び身につけるように指導する。幼稚園教育要領に基づき、「環境を通して行う教育」「遊びを通しての指導」等を踏まえながら、領域「人間関係」のねらい及び内容の関連も含めて、子どもと人間関係について実践的に学ぶことを指導する。

授業計画

第 1 回	子どもと人間関係のオリエンテーション
第 2 回	保育の基本
第 3 回	保育の特質:保育教材から考える、教材制作
第 4 回	子どもの遊びとは
第 5 回	幼児の発達
第 6 回	子どもの言葉と人間関係
第 7 回	子どもの遊びと人間関係
第 8 回	子どもの生活と人間関係
第 9 回	子どもの活動と人間関係
第 10 回	保育者の役割と人間関係
第 11 回	保護者とのかかわり
第 12 回	保育者同士の人間関係
第 13 回	保育の実践的理解①:保育教材を通じた保育実践の発表
第 14 回	保育の実践的理解②:保育教材を使用した実技発表
第 15 回	まとめ 子どもと人間関係における現状と課題
第 16 回	定期試験

到達目標

保育内容の方法における特質を理解し、各領域(5 領域)におけるねらい及び内容の関連を理解することができる。子どもの発達を見通した保育の展開を目指し、子どもの実態に即した指導計画の作成に基づいた保育実践を行うことを理解できる。

履修上の注意

幼稚園教諭免許取得に必要な科目であるため、教員免許取得の意識をもって臨むこと。

予習・復習

予習としては幼稚園教育要領、授業箇所のテキストを読む。
復習は授業を振り返り、教科書を読み重要事項をまとめる。

評価方法

受講態度 10%、発表 40%、学期末定期試験 50%

テキスト

- ・教科書名：子どもと保育—保育内容(人間関係、言葉、環境、健康、表現)の理解を目指して—
- ・著者名：五十嵐淳子、木戸直美、柳生崇士、田口賢太郎
- ・出版社名：大学図書出版
- ・出版年 (ISBN)：2022 年